

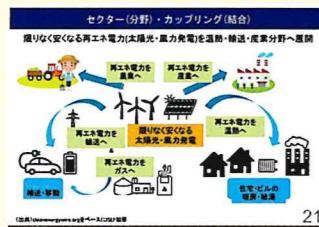
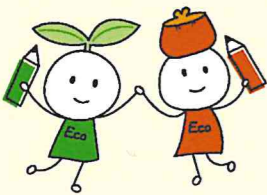


地球温暖化防止活動推進員の 1月28日(土) 研修会を開催



脱炭素川崎の実現のための重要な分野である「太陽光発電」について考える研修会を開催しました。講師は飯田哲也さん

(環境エネルギー政策研究所/所長)、「エネルギー高騰時代に考える脱炭素な川崎/太陽光発電・蓄電池・電気自動車から考える2030年」をテーマに再生可能エネルギーの活用について話をいただきました。また、地域での再エネ普及のためには「太陽光発電は面白い、事業性がある」ことが大切な要素になることから「太陽光発電+ブルーベリー」で事業を行っている山川勇一郎さん(さがみこファーム代表)に話題提供をしていただきました。



自幡台第一公園防災体験イベント参加 3月19日(日) ソーラーチーム

桜は3分咲き、快晴で暖かな日曜日に、宮前区で行われたイベントに参加しました。太陽光発電で扇風機を動かし、スマホ充電。太陽熱で調理ができるソーラークッキングで焼いたソーセージやラスクを美味しく食べ、ソーラーおもちゃで遊びました。災害時にも役立つソーラーを体験して、エネルギーについてみんなで考えることができました。宮前消防署による防災講座、起震車や煙体験もあり充実した防災体験でした。



「災害ごみから考える暮らしのスリム化」 2月19日(日) について研修 3R推進プロジェクト

異常気象が続き、災害も大型化し、災害ごみは身近な問題になりました。3R推進プロジェクトでは、3Rの視点から「災害ごみから考える暮らしのスリム化」のテーマで、廃棄物・3R研究財団上席研究員の中山育美さんを講師に迎えて研修会を行いました。静岡や他市との事例を共有し、ワークショップを実施。グループ発表では、災害ごみはどこへ出すか、普段からできることは何かについて、分別意識の大切さ、災害時を考えたトイレの自主訓練をする、ごみの集積場所を決めておく、普段の生活で不要なものは整理しておく等の課題について話し合いました。今後も、地域への発信等につながるように、定期的に学んでいきたいと思います。



映画『希望の給食』上映会 3月26日(日)



グリーンコンシューマーグループかわさき主催の上映会「希望の給食」が高津市民館で開催されました。小学生も含め20名の方(スタッフ6名を含む)に参加していただきました。地域の有機野菜を使った美味しく安心安全な学校給食を実践している取組を紹介したドキュメンタリーです。上映後はグループにわかれ活発な意見交換を行いました。



編集後記

センターの所在するビルの大規模改修に伴い、1月～2月は閉所となりました。その期間中は、リモートをメインに創意工夫をしながらのセンターの活動となりました。3月からは無事にセンターも復帰、真新しいLED照明の中で業務も再開となりました。

※川崎市地球温暖化防止活動推進センターは、川崎市から指定を受けた特定非営利活動法人アクト川崎が運営しています。

発行：川崎市地球温暖化防止活動推進センター
〒213-0001 川崎市高津区溝口1-4-1
ノクティ2 11F 高津市民館内
電話：044-813-1313 FAX：044-330-0319
メール：office@kwccca.com
URL：<https://www.cckawasaki.jp/kwccca/>

川崎市地球温暖化防止活動推進センターだより



エコちゃんず通信 No. 53

2023. 3. 31 発行

エコちゃんず通信は、CC かわさき交流コーナーにある川崎市地球温暖化防止活動推進センターのニュースレターで年4回発行します

第55回 車座集会



2月16日(木)に高津区役所で『子どもたちが安心して心豊かに暮らせる脱炭素社会に向けて～みぞのくち発・脱炭素ムーブメントを起こす～』をテーマに車座集会を実施し、当センターのほか環境活動に取り組む事業者・団体、学生、住民、地元企業など、様々な立場の参加者が集まり、福田市長と活発な意見交換を行いました。今まで環境活動に縁がなかった参加者からも「今日をきっかけに取り組みたい」などの前向きな声が多くありました。

車座集会の様子は YouTube でもご覧いただけます。
主催：川崎市



みんながつながる環境アプリ 「Green CarbOn Club」

グリーン カーボン クラブ

富士通株式会社と川崎市は、脱炭素社会の実現に向けた実証実験として環境アプリ「Green CarbOn Club」をリリースしました。

アプリ内でのSNS投稿、アンケート回答、記事・動画の閲覧、イベント参加などのエコアクションをすると貯まるGreenポイントをエコなサービスやクーポンと交換したり、SNSやイベントを通じて同じ意識を持った仲間とつながることができます。アプリをきっかけに環境配慮行動を始めてみませんか？



かわさき発
みんながつながる環境アプリ
エコアクションを累計して川崎市で使える
Greenポイントを貯めよう！
Green CarbOn Club



脱炭素チャレンジカップ2023 川崎市内の2つの事業者が環境大臣賞

2月16日(木)に「脱炭素チャレンジカップ2023」が開催されました。全国から選抜された脱炭素社会につながる実践をしているファイナリストが参加しました。審査の結果、環境大臣賞が5団体に授与され、うち川崎市内の2つの事業者が金賞に選出されました。



企業・自治体部門
日崎工業株式会社
2030年までにCO2排出ゼロを目指す
町工場の取り組み



市民部門
社会福祉法人藤英会
特別養護老人ホーム潮見台みどりの丘
すべては小さな一歩から

親子エコ体験 クラブ

親子で楽しく環境を学べる場作りとして、昨年9月から全4回シリーズで開催しました。ペットボトルを使ったトルネード実験や牛乳パックのスマホスタンド作りなどを楽しんだあとは、環境ラベルすごろくや分別ゲームなどで3Rを学び、最終回では作ったものを分解し、分別しました。今年度は、初めての試みでしたが、9組18名の申し込みがあり、いずれの回でも親子一緒に楽しく環境のことを学ぶことができました。全回参加した4組にはセンター長より修了証と記念品が授与されました。



楽しい水のふしぎな実験



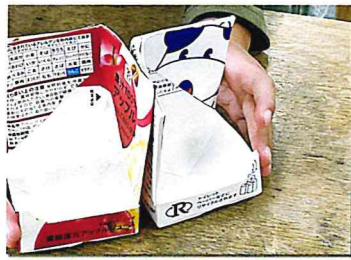
環境ラベルすごろくをスタートします



環境ラベルすごろくをコマを進めます



分別ゲーム



牛乳パックで作ったスマホスタンド



集合写真



分別ゲーム

川崎市SDGsプラットフォーム分科会報告会及び 講演会・セミナー 開催

3月24日(金)、当センターもコアメンバーとして参加している川崎市SDGsプラットフォーム分科会のイベント内で、「脱炭素の見える化」から始める脱炭素への挑戦について講演をしました。この取組は、事業活動を担っている中小企業の方々の「脱炭素経営」を支援する仕組み作りとサポートをするもので、今年度より開始した事業です。事業の詳細は、当センターホームページにも掲載しておりますので、ご参照ください。 <https://www.cckawasaki.jp/kwocca/carbonneutral.html>



今年も達成!

2022年度 環境出前授業 73件
参加児童生徒数 8,182人



当センターのテーマ別の6つのプロジェクトグループとセンターでは、市内外の小中学校に対して環境出前授業を行っています。昨年には及びませんが、2022年度は73件37校、参加児童数8,182人(小学校6,754人・中学校1,428人)という実績を挙げる事が出来、そのメッセージはたくさんの児童生徒のみならず、そのご家庭にも届いたことと思います。こども文化センターやフリースクールなどでの講座を実施することが出来たのも、



今年の特徴といえます。環境出前授業一覧は、当センターのホームページに掲載していますので、ぜひご覧ください。多様な主体からのご要望に応じます。

「平間小SDGsフェス」で 2年生に出前授業

1月21日(土)に開催された「平間小SDGsフェス」で、川崎市地球温暖化防止活動推進センターは出前授業を行いました。

「地球温暖化と食品ロス/すごろくで環境マークをもっと知ろう!」をテーマに2年生の皆さんに話をしました。地球温暖化の問題の深刻さについては「恐竜動画(製作:UNEP)」を見て考えてもらいました。食品ロスの話をした後、「環境マークすごろく」を使って、ゲームをしながら環境マークについて学びました。

また、推進員プロジェクトのグリーンコンシューマグループかわさき、3R推進プロジェクト、省エネグループも体育館の会場に参加しとても盛況でした。



グリーンコンシューマグループかわさき&3R推進プロジェクト



省エネグループ

ごみゼロカフェ 開催 (全3回)

“ごみゼロカフェ”とは、ごみの減量化・資源化に係る市民参加を推進するため、市民がカフェのような気軽な雰囲気の中で自由に意見交換する場として、開催されています。今年度は、川崎市地球温暖化防止活動推進センターを運営している特定非営利活動法人アクト川崎が、川崎市より企画・運営の委託を受け実施しました。

※「川崎市ごみゼロカフェ」とは、「川崎市一般廃棄物基本計画～ごみ減量 未来につなげるエコ暮らしプラン～」に於いて、ごみ減量に関心のある様々な年代の市民や事業者など多様な主体が参加し、自由に意見交換を行う新たな市民参加の取組として位置付けられたものです。

第1回 (2022年10月8日(土) 高津市民館)
企業の環境への取組とアップサイクル工作の体験講座
講師: イオン株式会社 環境・社会貢献部 瀬川 俊氏
株式会社SKLO 代表取締役 齊藤 倫平氏 他
協力: 川崎フロンティアアカデミー・スクール



第2回 (2022年12月10日(土) 中原市民館)
マイクロプラスチックをテーマにした講義と工作講座
講師: スナイプバレー合同会社 代表 嶋谷 隆氏
かわさき生活クラブ生活協同組合



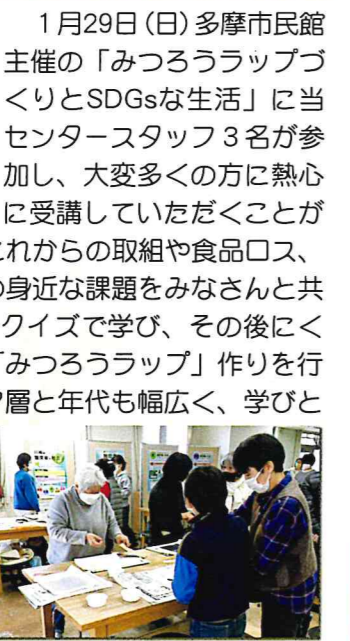
第3回 (2023年3月12日(土) 川崎市生活文化会館てくのかわさき)
食品ロスを減らす冷蔵庫収納と食品保存
講師: 料理研究家・食品ロス削減アドバイザー
島本 美由紀氏



みつろうラップ作りと SDGsな生活



1月29日(日)多摩市民館主催の「みつろうラップづくりとSDGsな生活」に当センタースタッフ3名が参加し、大変多くの方に熱心に受講していただくことが出来ました。温暖化防止のこれからの取組や食品ロス、マイクロプラスチックなどの身近な課題をみなさんと共有した上で、SDGsについてクイズで学び、その後にくりかえし使えるエコラップ「みつろうラップ」作りを行いました。小学生からシニア層と年代も幅広く、学びと体験を楽しんでいただきました。また脱炭素クイズも行い、脱炭素における次のアクションにつなげるこの大切さの理解を得ることが出来ました。



CCさいわい 「災害ごみハンドブック」作成

CCさいわいでは、2020年度から幸区役所と協働して、「幸区提案型協働推進事業」を行っていますが、その中で2022年度は「災害ごみハンドブック 災害時のごみはどうする?」を作成しました。

災害時のごみの扱いに関しては、実際に災害が起きてからでないとよくわからないところもあるのですが、必要最低限の情報をわかりやすく記述すること、そのためにはイラストや図表を多くして、直観的に訴えることにしました。イラストもプロの方の協力を得ることができ、なかなかわかりやすいものができたと自負しています。

